

森を育む紙製飲料容器普及協議会

による「美しい森林づくり」に向けた取組



国産材の利用による健全な森林づくりの促進に貢献

ヨーロッパ生まれの紙製飲料容器の「カートカン」は、リサイクル可能で飲料の品質保持期間も長い「環境にやさしい容器」というだけでなく、原料に国産材を30%以上使用しています。そのため、「植える→育てる→収穫する→植える…」という健全な森林づくりの循環を促進し、日本の森林を育むことに貢献するものです。

森を育む紙製飲料容器普及協議会は、カートカンの普及と一体となって、さまざまな場所で日本の健全な森林づくりの普及を行っています。

カートカンのよさを伝えるための普及活動を展開

協議会の総会やレセプションでは、飲料メーカーなどカートカンを通じて日本の森林を育むことに賛同いただ

いた会員を集め、企業間の垣根を取り払い、日本の森林に関する知識を深めてもらえるような普及活動を行っています。その他、全国植樹祭や育樹祭など環境や森林に関する各種イベントで、カートカンのよさを伝えるための普及活動を展開しています。

3.8%の温室効果ガス削減への貢献を目指して

「美しい森林づくり全国推進会議」への参加を通して、これまで以上に多くの企業や団体の皆さまと手を携えながら、健全な森林づくりの循環の促進に向けた取組を広めていきたいと考えています。その中でカートカンの持つ特性や環境性を幅広く伝えていき、このような活動を通して、2012年に向けた3.8%の温室効果ガス削減に貢献していきたいと考えています。

【取組】全国展開

環境・森林イベントでの普及活動

「全国植樹祭」や「全国育樹祭」、「森林の市」や「エコライフフェア」など、環境や森林に関する各種イベントで、カートカンの展示やカートカン飲料の試飲などを通して、日本の健全な森づくりの普及を行っています。



▶ みどりの感謝祭での展示風景



▶ 製品化されているおもなカートカン

【取組】全国展開

「緑の募金」とその普及活動

「カートカン」は、原料に国産材を30%以上使用することで、健全な森林づくりの循環を促進していますが、売上の一部を「緑の募金」へ寄付することによっても、森林ボランティア等による健全な森林づくりを促進しています。



▶ 農林水産省7階の自動販売機／日本の森を育む緑の募金マーク例

森を育む紙製飲料容器普及協議会

平成16年設立。間伐材や端材を有効活用した紙製の飲料容器を普及することにより、森林育成の重要性を国民に伝えることを目的とした協議会。飲料メーカーや関連企業を中心に、賛同する企業などの呼びかけで発足し、各種森林や環境イベントへの参加、講演会などを行っている。

【問い合わせ】〒110-8560 東京都台東区台東1-5-1 TEL:03-3835-7680 FAX:03-3835-7668 <http://www.morikami.jp/>